



教育講演

「地域包括ケアシステムに患者報告型アウトカム(QOL/PRO)評価は不要か？」

私は生命の危機に瀕した救急患者を救う医療をしていま... 卒中や脊椎・大腿骨骨折など... 急性期患者を社会復帰させる医療です。...

そこで私が研究しているのがQOL/PROです。QOLは「生きて良かった」という満足度。PROはPatient (患者)、Outcome (報告)、Outcom

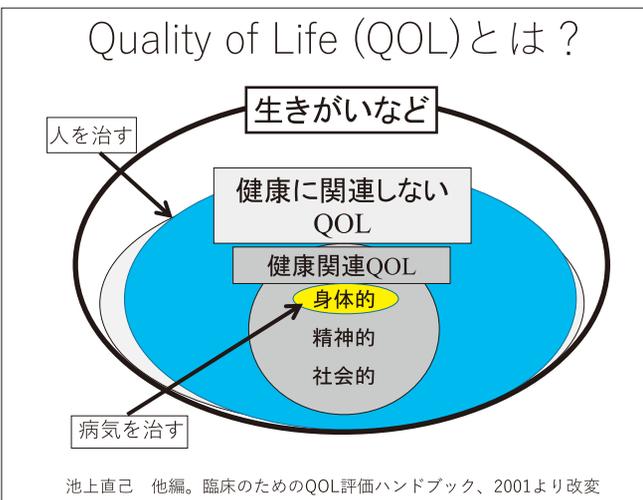
e (結果) です。結論を簡単に言うと、「医療、介護サービスの良し悪しやその方向性、目標を決めるのは医療者でなく、患者と医療者の共同作業であるべき」です。例えば、



教育講演を終え、コープリハ代表者の発表会場にて(パネル右が著者)

あなたは脳梗塞で片麻痺になり、リハビリを行うことになりました。もし医療者から「あなたは今後どのような生活を送りたいですか?」と聞かれたとします。

お互いの価値観や環境を理解する必要があります。実際に自宅に帰られた後、患者自身が満足した生活を送っているか?を客観的に示せば誰かが納得します。それが、患者アンケートから算出されるQOL(生活の質)/PRO(患者報告型アウトカム)なのです。



「人を治す」とは医療者が患者を一人の人間として「包括的」に認識すること。そのツールが「QOL」。なお、健康関連QOLは一般的には身体的・精神的・社会的な部分に分けて評価します。

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。



生徒さん達の質問に答える岡本看護部長

創志学園高等学校 看護科来訪

3月3日に創志学園高等学校の看護科1年生37名が臨地実習に来訪され、私は多職種連携と看護師の役割について講話をしました。

私が働いている回復期リハビリ病棟では多職種連携は必須です。それは患者さんが抱える問題は複合的だからです。患者さんが望む暮らしに戻るために、退院後も困らないように、入院中から不安材料を予測しそれぞれの職種が専門性を発揮し関わっています。

学生さんからは「もっともって勉強して知識を広げていきたい」「人の気持ちができる人になりたい」等の声が聞かれました。印象的でした。当院にはこれからも沢山の実習生が来訪されます。看護の仕事は大変でもありますが、それ以上に看護のやりがいや魅力を伝えたいと思います。



大型バスでコープリハビリテーションに到着



お問い合わせ先 倉敷医療生活協同組合 コープリハビリテーション病院 老人保健施設 老健あかね TEL 086-444-3212(代表) 受付時間 平日 9:00~16:30 土曜日 9:00~12:00 (日祝・年末年始を除く)

〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60 ホームページ: http://coopreha.jp/ メールアドレス: info@coopreha.jp 広報委員会 発行責任者 笹館 勝人

診療表 table with columns for hospital name, phone number, and a grid of services (外来, 器具外来, 歯科, 短時間通所リハビリ, 短期集中健幸アップ教室) and times (午前, 午後) for each day of the week.

医療福祉相談・連携室 table with columns for consultation times (平日, 土曜日, 日・祝日) and hours (9:00~12:00, 13:30~16:30).